径尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名: 担当医: 担当医: 受持看護師:

月日(日時)	/	/		/	/ ~ /	/	/ ~ /	/
経過(病日等)	入院日(手術前日)	手術当日		手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4日目	手術後5~9日目	手術後10日目(退院)
	・手術ついて理解し.同意している。		・血尿による尿の管の	寒がなく経過する。		>		【退院基準】
達成目標	・手術の準備が整っている。		・出血・発熱などの症状	きを起こさない。		・血尿や不快感がない。	排尿がある。	・排尿があり、残尿感がない。
	, 11, 10 1 min 12 1 1 1 1 1 1 1	手 術 前	手 術 後					出血がなく、発熱など感染の 兆候がない。
	・()時に胃薬・安定剤・下剤の内	朝から点滴を行います。	点滴をしています。	・朝と夕方に止血剤・抗生		(場合によっては止血剤の点)	商が続くことがあります。)
治療•薬剤	服があります。					(場合により抗生剤の内服が処方されることがあります。)		
(点滴・内服)		・()時に浣腸を行います。				添い これたのここか のうま 4 ッ)		
処置	・陰部の毛のカットを行います。	手術の開始時間	・尿の管が入っています	t.====================================			・手術後5日目から6日目ごろに、血尿の程度	
		()		・尿の管が抜けるまで、		を確認し主治医が尿		
		時頃		1日1回消毒と軟膏を塗り ます。			の管を抜きます。	
検査				・血液検査をします。		・血液検査をします。	・尿の管を抜いた翌日 以降、退院前に外来で 腹部エコーをして残尿 量の確認をします。	
活動•安静度	制限はありません。		できます。(腹圧がか からないように、ベッド のリモコンを利用して	・歩行できます。(最初の 歩行時はふらつく可能性 があるので、看護師が付 き添いをさせていただき ます。)				
食事	()時まで飲水ができます。 ()時まで食事ができます。		・帰室2時間後からお腹の動きがよければ、飲水、夕方から食事が食べられます。					
清潔	・必ず入浴又は、シャワーをしていただきます。			・発熱がなければシャワ-	ーが出来ます。 		・尿の管が抜けたら入 浴ができます。	
排泄			・排便時はベッドサイドでポータブルトイレ を使用します。	・トイレで排便できます。			・尿の管を抜いた当日から翌々日まで、排尿時間と1回尿量を記録していただきます。	─── >
リハビリ 栄養指導 服薬指導	・入院治療計画と手術の同意書の受領。 入院生活ついて 看護師から説明をいたします ・手術室看護師の訪問があります。 ・手術後の日常生活の注意点に関するパンフレットを配布し、説明させて頂きます。 ・持参薬の確認を行います。抗凝固剤内服中の方は中止できているか確認を行います。 ・手術に必要なバスタオル1枚・T字帯1枚・寝衣1枚を準備してください。	・ご家族の方は手術開始から終るまで、控え室または病棟の食堂でお待ちください。離れる際は看護師に声をかけてください。		ないように注意してくださ	L's			・病理の結果は退院までに主治医から説明があります。